

おおぐち —ふれあいネットワーク— 社協だより

7月

2007
No. 59

社会福祉法人

大口町社会福祉協議会

〒480-0126

大口町伝右一丁目35番地

大口町健康文化センター2F

TEL 94-0060 FAX 94-0059

BBフォン 050-1004-7202

E-mail: o-shakyo@owari.ne.jp http://www.gojo-sakura.com/gov/o-shakyo/

みんなが安心して暮らせる福祉の（で）まちづくりをめざします。
社会福祉協議会会員加入に、

ご協力をお願いします

町民の皆様、平素は社会福

祉協議会地域福祉事業に対し
まして、深いご理解とご支援
を賜り厚く御礼申し上げます。

当社会福祉協議会では、福
祉事業の充実に向けて活動さ
せていただいておりますが、
その為には皆様方のご理解と
ご協力が不可欠であります。

平成十九年度会員（一般会員・
賛助会員・法人会員）の納入
につきましては、七月～八月
にかけてお願い申し上げます。

どうか、昨年度加入の方は
今年度も引き続いてお願いをし、
更に新規の方におかれましては、
趣旨をご理解いただきご協力

を賜りますようお願いします。

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

会長 酒井 義次

— 平成18年度加入実績 —

項 目	加 入 数	会費額（円）
一般会員	4,578件	2,312,000円
法人会員	90社	552,000円
その他（個人・職域）		119,500円
合 計		2,983,500円

内

容

社協会費について	1
19年度事業計画について	2, 3
善意だより	3
19年度予算について	4
社協役員評議員改選について	5
社会福祉協議会よりご案内	5
大口町共同募金委員会より	6
個人情報保護に関する方針	7
ボランティア情報局	8, 9
大口子育て情報「ぎゅっと」	10
介護まめ知識	11
機器貸出し、イベント募集	12

九月二十二日（土）～二十三日（日）
愛知県へ全国のボランティアが集結し、
情報交換・交流会が開催されます。
二十三日（日）大口町が所属する西
尾張ブロックは、一宮市スポーツ文化
センターにて開催され、大口町の特産
品「いちじく羊羹」「五条麦茶」の販
売、チーム「ダッシュ」によりますシ
ョーが上演されます。（詳細は、社協
へお問い合わせ下さい）このフェステ
イバルは、ボランティアさんだけのイ
ベントではなく、住民の方にも楽しん
でいただけるよう「ふれあい広場」も
同時開催され、西尾張地区の特産品も
販売されますので、お時間がありまし
たら、是非足をお運び下さい。

第十六回全国ボランティア

フェスティバル

夢を知り夢を育むボランティア

社会福祉協議会

評議員会開催

平成十九年三月二十八日（水）大口町健康文化センター一階多目的室において評議員会が開催され、左記議案を慎重にご審議を賜り全議案とも原案通り可決いただきました。

◎議案第八号

平成十八年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計補正予算（第三号）について

◎議案第九号

平成十九年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画について

◎議案第十号

平成十九年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会一般会計予算について

◎議案第十一号

社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事の選任について

本年度事業方針

昨年は、新たな介護保険制度のスタートや障害者自立支援制度の施行と福祉を取り巻く環境がめまぐるしく変化し、昨今では「格差社会」・「セーフティネット」という文字が毎日のように躍り、日々の生活に置き換えた時、将来への不安を抱かれている方々は多いのではないかと思っております。社会福祉協議会としても、利用者ニーズに十分対応し、より良いサービスに努めて参ります。又、財源的にも国の三位一体改革等変革の時代であり、各自自治体の財政改革が進む中、本町においても集中改革プランにより、昨年度より補助金の見直しが行われ、当協議会において大変厳しい状況下ではあります。が、二十周年を契機に更に財源確保に努力し、各事業の見直しを含め、充実させるとともに、左記事業を重点に努力して参ります。

記

1. 職員の資質向上

県社会福祉協議会などが開催する講演会・研修会に出席し、職員個々の資質の向上と相談業務の充実を図り、地域社会の支えを必要とする方々の福祉の向上と自立支

援に取り組んで参ります。

2. 事業の展開

地域福祉のニーズを発掘し新たな事業推進に取り組み、既存の事業に対しても見直しを図りながら、地域に即した事業の展開を図って参ります。

3. 法人化二十周年

平成十九年七月一日をもって社会福祉協議会法人化二十周年を迎えるにあたり、記念事業などを計画するとともに今一度初心に戻り、新たな気持ちで地域福祉推進に取り組んで参ります。

4. 全国ボランティア

フェスティバルあいち・なごや

平成十九年九月二十二日・二十三日、本県にて開催される「全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや」を契機に、更なるボランティア事業の推進を図って参ります。

社会福祉協議会事業計画

◎社協組織の充実と会員の増加

- ・ 自主財源確保のため、相互扶助推進の高揚を図り、会員の確保と拡大を推進し会費の増収に努める。

- ・ 必要に応じ理事会、評議員会を開催し事業方針の達成に向かって努力する。

◎広報活動

- ・ 広報「社協だより」の発行回数を増やし情報提供の充実を図るとともに、ホームページにおいても社協事業を公表し、町民の参加と協力を働きかけていく。

- ・ 法人化20周年記念誌の発行

◎ボランティア活動の強化と拡大

- ・ ボランティア連絡協議会と協働し講演会の開催及びボランティアサークルの開放を行い、広く町民の方々に活動を周知するとともにサークルの組織強化と活動拡大に努める。

- ・ 各種講座を開催し、ボランティアの育成とグループの補強と支援を図る。

- ・ 広域的な分野を視野に入れ、近隣社協とも協力して福祉教育実



- ・ 施サポーターの技術向上を図る。
- ・ ボランティア活動等を社協だより及びホームページへ掲示し、ボランティア情報を発信する。
- ・ 全国ボランティアフェスティバルあいち・なごやの開催

◎児童福祉

- ・ 町内小中学校と協働し福祉教室（福祉実践教室・総合学習）の振興を図る。
- ・ 夏休みに親子福祉教室を開催する。
- ・ 子育て支援サークルに支援する。

◎老人福祉

- ・ 敬老を祝い「高齢者肖像撮影事業」を行う。
- ・ 単身高齢者、高齢世帯の方々におせち料理を届ける。
- ・ 施設入所者に対し「敬老の日」のお祝い品を贈る。

◎心身障がい児者福祉

- ・ 大口町障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営により「障がい者スポーツ大会」を開催する。
- ・ 視覚障がい者への音訳サークルによるカセットテープ・CDを利用した「声の広報」サービス、点訳サークルによる点訳サービス及びバリアフリー化支援ソフトを使用したホームページより

福祉情報を発信する。

- ・ 町在宅重度障がい児者を対象に慰問品の配布を行う。
- ・ 重度身体障がい者の方を対象に「日帰り旅行」を開催する。

◎母子福祉

- ・ 町及び郡母子寡婦福祉会への支援・助成事業を行う。
- ・ 母子父子家庭を対象とした「親子ふれあい事業」を行う。
- ・ 母子家庭等に対する就業支援とし「就業相談日」を月2回設ける。

◎福祉関係団体の育成・助成

- ・ 身体障害者福祉協会・心身障害児（者）親の会・尾北精神障害者家族会・遺族会・更生保護女性会・保護司会・母子寡婦福祉会の活動支援として補助金を交付し事業の推進を図る。

◎共同募金

- ・ 大口町共同募金委員会とともに共同募金事業の啓発と目標額の達成に努める。
- ・ 共同募金配分金事業を推進する。

◎在宅福祉サービス3事業所の経営

- ・ 大口社協居宅介護支援事業所（介護・介護予防）
- ・ 大口社協訪問介護事業所（介護・

介護予防・障害者自立支援）

- ・ 大口社協デイサービスセンター（介護・介護予防）
- ・ 大口町訪問介護事業を受託する。
- ・ 生きがい活動支援通所事業を受託する。

◎福祉関連事業

- ・ 総合福祉相談窓口
- ・ 民生児童委員・関連福祉団体相談員等の協力により「心配ごと相談所」毎月第1から第4水曜日に開設する。
- ・ 日常生活自立支援事業相談窓口を開設するとともに、事業の啓発に努める。
- ・ 県・町くらし資金による緊急一時貸付事業、生活福祉資金貸付事業、離職者支援資金貸付事業、長期生活支援事業、緊急小口資金貸付事業等各種貸付事業を実施する。
- ・ 貸出事業（車椅子・松葉杖・わた菓子機・ポップコーン機、福祉教材、福祉車両）を行う。
- ・ 民生児童委員、主任児童委員の部会活動に協力する。
- ・ その他社会福祉事業に必要な事業を推進する。



善意だより

「寄付ありがとうございました。」

社会福祉に役立ててほしいと大口町社会福祉協議会に愛だき寄付が寄せられました。

これらの善意は、大口町の福祉のために大切に使用させていただきます。

（順不同・敬称略）

（二月二十一日）

〓五月二十八日お取り扱い分〓

大屋敷健康推進委員 一、六〇〇円
愛知県生命保険協会 軽自動車一台
ユニー株式会社中京本部第四十四回
小さな善意で大きな愛の輪推進本部
本部長 渋谷 均

ダンスサークル大口ふれ愛
二八、五〇三円

大口町建設協力会
二一、二〇〇円

愛銀ライフサークル
一〇〇、〇〇〇円

会長 小出 眞市
一〇〇、〇〇〇円

株式会社 ヨシヅヤ
一三〇〇枚

尾北ソーシャル連合会
代表 進藤 宗計
三一、六五〇円

平成19年度社会福祉協議会予算のあらまし

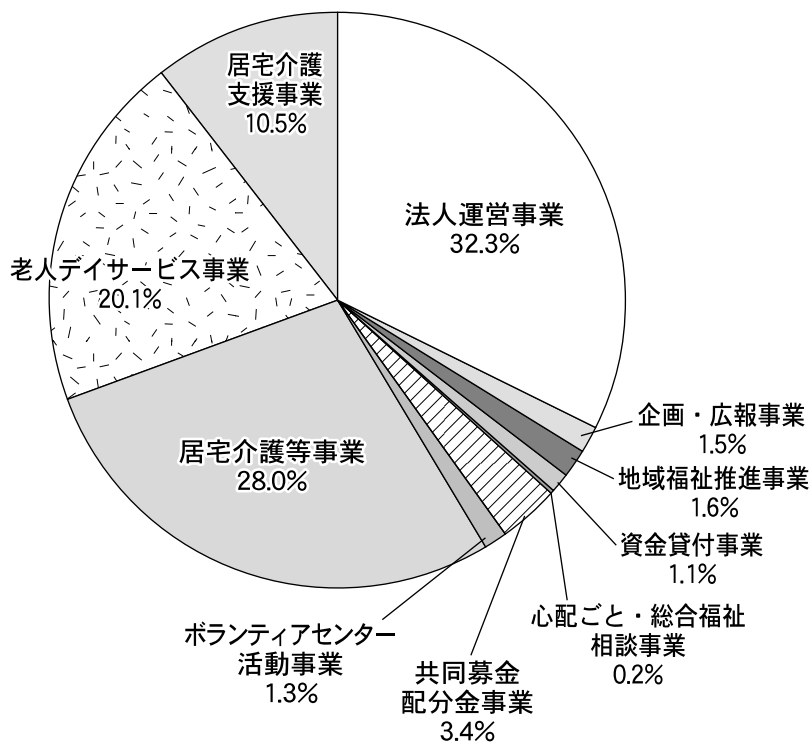
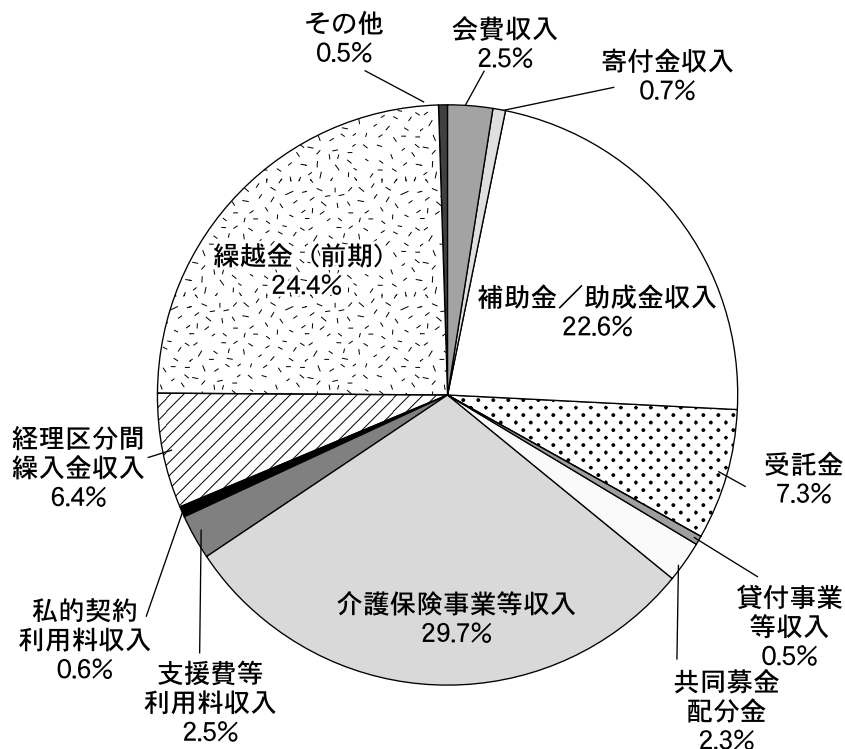
予算総額

125,522,000円

「収入」

(円)

会費収入	3,180,000
寄付金収入	800,000
補助金/助成金収入	28,318,000
受託金	9,211,000
貸付事業等収入	668,000
共同募金配分金	2,909,000
介護保険事業等収入	37,202,000
支援費等利用料収入	3,144,000
私的契約利用料収入	772,000
経理区分間繰入金収入	8,021,000
繰越金（前期）	30,618,000
その他	679,000
収入合計	125,522,000



「支出」

(円)

法人運営事業	40,591,000
企画・広報事業	1,941,000
地域福祉推進事業	1,960,000
資金貸付事業	1,380,000
心配ごと・総合福祉相談事業	275,000
共同募金配分金事業	4,316,000
ボランティアセンター活動事業	1,617,000
居宅介護等事業	35,026,000
老人デイサービス事業	25,200,000
居宅介護支援事業	13,216,000
支出合計	125,522,000

役員・評議員の改選

この度、役員・評議員の欠員に伴う改選があり、五月十八日開催の理事会、五月二十五日開催の評議員会に於いて左記の方々が選任され、ご活躍いただくことになりました。

役員

役員の任期満了に伴い、五月二十五日の評議員会、六月一日の理事会に於いて左記の方々が選任され、会長につきましては、永年努められました尾関道弘氏が五月三十一日をもって退任され、新たに酒井 義次氏が六月一日より就任されました。

併せて、前会長の尾関 道弘氏につきましては、六月一日より顧問として選任されご活躍いただくこととなりました。

会 長	酒井 義次
副会長	水野 多三男
常務理事	田中 義郎
理 事	近藤 清子
〃	江口 義輝
〃	野田 正男
〃	酒井 見義
〃	前田 孝徳
〃	水野 清胤
〃	廣瀬 艶男

評議員

一部の評議員の退任により、五月十八日の理事会に於いて、左記の方々が選任されました。

理 事	田中 堅公
〃	高橋 勝幸
〃	加藤 英也
〃	三輪 和子
監 事	井上 辰廣
〃	服部 光延
顧 問	福富 弘之
〃	江口 一信
〃	尾関 道弘
佐藤 洋治	秋田区代表
丹羽 光明	大屋敷区代表
舟橋 功	外坪区代表
松岡 厚生	河北区代表
伊藤 賢	余野区代表
安藤 正男	上小口区代表
安藤 邦彦	中小口区代表
酒井 武美	下小口区代表
武田 静雄	垣田区代表
耳塚 昇三郎	さつきヶ丘区代表
松岡 景子	保護司会代表
三輪 和子	大口さくらメイト代表
安藤 文子	大口町心身障害児(者)親の会



(者)親の会

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます

さて 私儀

このたび 五月三十一日をもって、社会福祉法人大口町社会福祉協議会の会長を退任いたしました
在任中は格別のご指導ご支援を賜り厚くお礼申し上げます
今後とも変わらぬご懇情を賜りますようお願い申し上げます
書中をもって退任のご挨拶いたします

敬 白

平成十九年六月吉日

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

尾 関 道 弘

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます

さて 私儀

このたび 六月一日をもちまして 社会福祉法人大口町社会福祉協議会の会長に就任いたしました
もとより微力ではありますが 社会福祉の向上のため専心努力してまいりたいと存じますので 皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます

お願い申し上げます
敬 白

平成十九年六月吉日

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

会 長 酒 井 義 次

福祉車両を、地域の方々に貸出ししております。

車椅子使用者の方が、外出の際、必ずといっていいほど、“どうやって出掛けよ～？”とか、“乗用車の乗り降りが大変だ～！”と思われる方がみえると思います。

こういった時は（外出の際は）、社会福祉協議会の福祉車両を使用してみてもいいかがですか

◎利用できる方

- ・大口町にお住まいの車いす利用の方、及び大口町にお住まいの方の親族等が、大口町に滞在し必要とするとき。
- ・貸し出しを受けた際、車両の保管場所を確保できる方。
- ・運転手を確保できる方。

◎貸出期間

- ・2日以内（週末、祝日につきましては、お問い合わせ下さい。）

◎利用料

走行距離10 kmにつき100円

◎備考

- ・貸出車両は軽自動車です。
- ・申請の際には、認印・運転者の免許証を提示いただきます。
- ・車いすの乗降車操作についての、説明をさせていただきますので、安心してご利用いただけます。

◎お問い合わせ・申込み

社会福祉協議会まで TEL94-0060 fax94-0059



ただいま職域募金・募金箱設置協力店舗の募集をしております!!

大口町共同募金委員会では、共同募金運動期間中に店内に募金箱を設置していただけるお店や、職場内で従業員の方を対象に募金をしていただける企業を募集しております。

実施期間

「赤い羽根共同募金運動期間」10月1日～12月31日

「歳末助け合い募金運動期間」12月1日～12月31日

あなたの善意（小銭）が知らぬ間に職場の机の中に埋もれていませんか？

その忘れかけた善意が、共同募金を通じて社会貢献できることをご存知でしたか？

参考： 現在職域募金（15社）、募金箱設置店（10店舗）の皆様にご協力いただき実施しております。

皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

お問合せ先

大口町共同募金委員会（大口町社会福祉協議会内）

TEL 94-0060

fax 94-0059

メール o-shakyo@owari.ne.jp



〈募金箱一例〉

大口町共同募金委員会より

個人情報保護に関する方針 (プライバシーポリシー)

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会は、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めます。

1. 本会は、個人の人格尊重の理念のもとに、関係法令等を遵守し、実施するあらゆる事業において、個人情報を慎重に取り扱います。
2. 本会は、個人情報を適法かつ適正な方法で取得します。
3. 本会は、個人情報の利用目的をできる限り特定するとともに、その利用目的の範囲でのみ個人情報を利用します。
4. 本会は、あらかじめ明示した範囲及び法令等の規定に基づく場合を除いて、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく外部に提供しません。
5. 本会は、個人情報を正確な状態に保つとともに、漏えい、滅失、き損などを防止するため、適切な措置を講じます。
6. 本会は、本人が自己の個人情報について、開示・訂正・追加・削除・利用停止を求める権利を有していることを確認し、これらの申出があった場合には速やかに対応します。
7. 本会は、個人情報の取扱いに関する苦情があったときは、適切かつ速やかに対応します。
8. 本会は、個人情報を保護するために適切な管理体制を講じるとともに、役職員の個人情報保護に関する意識啓発に努めます。
9. 本会は、この方針を実行するため、個人情報保護規程を定め、これを本会役職員に周知徹底し、確実に実施します。

平成17年4月1日制定

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会
会 長 酒 井 義 次



ボランティア 情報局



ボランティア開放 ♪ ♪

毎年夏休みの恒例になってきた「ボランティア開放」を今年もおこないます。町内、各小中学校にもチラシを配布させていただきます。おかげさまで、年々子どもたちの参加も増えています。ボランティアさんたちも子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

今年は、どこの
ボランティアに行
ってみようか……



おもちゃ病院おおぐち



まってまゐす。

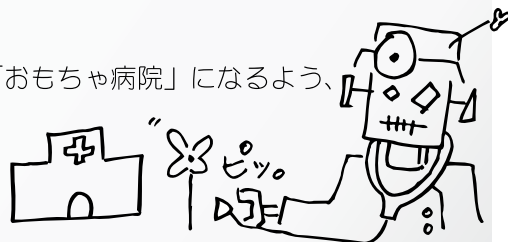
1月27日（土）から6回コースで「おもちゃ病院Dr.養成講座」が開かれました。それから7ヶ月……受講者みなさんの、是非おもちゃ病院を開院させたい！の想いから、4月より病院開院の準備がおこなわれ、ただいま8月11日「おもちゃ病院おおぐち」の正式開院を目指しています。子供たちの笑顔を早く見たいがために、サークルメンバー一生懸命準備をしています。

活動日：毎月第二土曜日 午前10時～12時

当面は上記日程で実施しますが、利用しやすい「おもちゃ病院」になるよう、時間延長等変更をしていきます。

活動場所：大口社会福祉協議会内

連絡：社協ボランティアセンター 0587-94-0060



「おもちゃを直すことが好きで、それを通して、物の大切さを伝えたり、人とのふれあいができたらいいなあという気持ちで立ち上がりました。うれしいことに、養成講座を受けた全員でスタートできることはなによりです。」— 社協談

♡ ♡ ♡ ちよつと車に



ボランティア活動中、他のボランティアさんをちよつと車に乗せて、活動場所まで移動した～そんな経験は、たくさんあると思います。不運にも、もしそのとき事故にあってしまったら、同乗者(ちよつと乗せてもらっただけのボランティアさん)には、保険範囲内ではしか補償がありません。あまりにも当たり前のことなので、今までは、何の確認も取りませんでした。が、このたび、大口町では、ボランティアの方にその内容を伝え同意を求める動きが始まりました。近くの市町村でも少しずつ同じように動き始めています。そこまでしなくてもなあ……って思うかもしれませんが、細かい活動が増えた分、見直していく事も必要になってきたということでしょうか。運転をするボランティアさんが嫌な思いをしたり、ボランティアさん同士のトラブルもいやですし……。でも、やっぱり時代の流れなんではないでしょうか……。



幸せを感じるボラ活動



平成19年3月2日、「平成18年度大口町社会福祉協議会ボランティアセンター 運営委員会研修会」において、塚本萬喜子さんによる講演が開かれました。

『塚本のばっちゃん』と親しまれ、ろう者であり県内各地の手話講座の講師をしながらも、ボランティア活動を行っているという、パワフルな塚本さん。昭和48年～49年頃、生活も苦しく娘も難聴。なんで私だけが・・・？と家に引きこもりがちだった塚本さんに「全国ろうあ婦人集会」に参加しない？と友達のお誘いがありました。しかし広島までの交通費・宿泊代を考えると、とてもそんな余裕はない……。そんなとき「お母さん、行ってきたら！私のお小遣いと、お父さんのタバコ代を貯めて旅費にすればいいよ！お母さんの留守中、家の事は、私が頑張ってるから！」塚本さんの背中を押したのは、小学生の娘の一言だった。



塚本萬喜子氏

「わたしとボランティアさん」～
「ボランティアさんとの関わり合い」



初めての集会「こんなにたくさんの方が、なぜ集まるのか？」を疑問に感じ尋ねてみたら「聴覚障がい女性たちが日頃の悩みや不満を持ち寄って、みんなで話し合い問題を解決するためよ」との返事。いろんな人の話を聞いて、もっと大変な暮らしをしている人がいる。負けないで頑張っている人がたくさんいるんだ！という事を知り、自分は幸せであると感じたそうです。帰宅したら娘に「お母さん、行きと帰りとは、全く別人のようネ！すごく明るくなったヨ。私もおかあさんの留守中、炊事・洗濯とお母さんの大変さが、よくわかった。ありがとう」って「広島での集会で、私と娘二人が成長することができました」と懐かしそうに話をされました。以降、婦人部活動へ積極的に参加。後に会長を任せられ、ろうあ相談員として、活躍されました。

塚本さんのたくさんの経験談の中のひとつにこんなお話をされました。

ある時、塚本さんが聴こえないと知り、相手の方から“通訳者を呼びなさい”と言われたそうです。通訳者がいなくても、塚本さんは直接お話をしたかった。筆談でも話せるのに、相手は「私と話す気がない」と感じ悲しい気持ちになり、聴覚障がいがあっても対等に付き合い共に活動したいと思った。まずは「一緒に話しましょう」の一言があればどんなにうれしいか……。と塚本さんは私たちに訴えかけられました。

聴覚障がいというハンディを持ちながらも、いろいろな苦労を幸せに変えていくように話される塚本さん。最後に「ボランティア同士仲良くしてほしい」という事を伝えて講演は終了しました。そして「私の話を通訳してくださった方に、心から感謝します」と、手話通訳をしている人々を一瞬ビックリさせる一幕もあり、ボランティアする側、利用する側両方の経験を持ってみえる塚本さんならではの、お話でした。



■ 編集後記 ■ 取材・作成／編集ボランティアOZ

もうすぐ夏本番、かなづちの私はどちらかと言えば山に出掛ける事が多いのですが、皆さんは海派？山派？どちらでしょうか？もう何年も前、富士登山ツアーに参加した事があります。名古屋駅からバスで出発、5合目から歩いて登って行きます。夜中だというのに頂上を目指す人々、慣れている人はさっさと登ってしまいますが、日頃から運動不足の私はゆっくり自分のペースで、登るにつれ空気が薄くなって息が苦しく、足も痛くなり、でも、早朝、雲海の下から太陽が昇ってくる姿を見た感動が忘れられず、翌年も再び富士登山に参加してしまいました。疲れて苦しい山登りの何が楽しいの？と主人からは言われますが、何事もチャレンジしてみないとわからないですね。





【問い合わせ】
親子支援サークル「まみーぽけっと」

【 H P 】
<http://www.geocities.jp/mammypocket/newpage9.htm>

『おもちゃ病院おおぐち』開院

大口町におもちゃ病院が開院します！
その名も「おもちゃ病院おおぐち」
ただいま8月開院に向けて準備中です。皆さん乞うご期待！！

「おもちゃ病院」の歴史を紹介します

★平成15年★

11月に第1回「おもちゃ病院」を遊楽祭にて開催。
犬山ポニーおもちゃ病院のドクターをお呼びしました。



★平成16年～平成18年★

毎年、児童センターと遊楽祭にて年2回「おもちゃ病院」を開催。
犬山ポニーおもちゃ病院のドクターに協力してもらいました。

★平成18年★

1月から3月まで計6回「おもちゃ病院ドクター養成講座」を開催しました。
参加者は11名。大口のおもちゃ病院の歴史や、ポニーおもちゃ病院の代表の方の話を聞く事が出来ました。また、ポニーさんへ体験実習に行かせてもらったりしました。
最後の回ではおもちゃ図書館さくらさんや、ポニーおもちゃ病院さんも交えた茶話会をしました。
そして皆さん迷うことなく大口におもちゃ病院を作ろうという話にまとまり「おもちゃ病院おおぐち」が生まれました。

2007.06.13 OPEN

毎週：水・金曜日

10：00～15：00



「地域ぐるみの子育てと文化」をテーマに、ママたちのコミュニティ作りの場として「プレイスペース」でお子さまを遊ばせながら、「ティースペース」でのんびりリフレッシュしたり、「レンタルスペース」では趣味や特技を活かして使用してもらう事も出来ます。

●プレイスペース & カフェ

利用料（ドリンク付き）
¥200

★別途ほっとサンドなども
ご用意しています。

●一時お預かり

預かり料（1時間）
¥300

★事前にご予約ください。

●レンタルスペース

★あなたの趣味や特技を活かしてプチ講座も開けます。
ネイル・美容院・エステ・クラフトetc...

【場所】 〒480-0141 丹羽郡大口町上小口1丁目250番地 上小口学習等供用施設内

【お問い合わせ】 まみーぽけっと TEL090-9125-6804（火曜日から金曜日の10:00～15:00）

介 護 まめ 知 識

今年も暑い夏がやってきました。夏は水分を十分に摂らないと、家の中にいても熱中症になってしまうことがあります。でも、飲み込みが悪くなっている方は水分を摂ることが億劫になりがちです。そんな方にお勧めなのが『増粘剤』です。

あまり聞かない言葉ですが、水分にとろみを付ける片栗粉のような物です。片栗粉と違うところは冷たい物でも温かい物でもとろみをつけることができるのです。少しづつ加えて自分の飲みやすいとろみに調節でき、薬局、ドラッグストア、病院の売店などで売っていますのでお試しください。



《 飲 み 込 み 訓 練 》

食べ物や飲み物をうまく飲み込む訓練が開発されましたのでご紹介します。

(1)訓練前に深呼吸をします。(アゴを上げないようにします)



(2)鼻から大きく吸って、しっかり息を止めます。



(3)唾液または空気を飲み込みます。



(4)吸気をせずに、すぐに勢いよく息を吐きます。あるいは咳をします。



[愛知県歯科医師会 口腔機能向上手引き 引用]

《 簡 単 ク ッ キ ン グ 》

蒸し蒸しと暑くなってくると食欲が落ちてしまいますね。こんな時期は、つるっと冷たい素麺が食べたくなってきます。でも、むせやすくなっている方には麺類は食べにくいものです。そこで、食べやすい素麺の作り方をご紹介します。

トローリ素麺

- 1 素麺はやわらかめに茹でる
 - 2 水にさらして3～4本取り、人差し指にくるくると巻きお皿にのせる
 - 3 めんつゆに片栗粉か増粘剤でとろみをつける
- ※ 素麺を1口大に巻いて、つゆにとろみをつければ、麺をすすらずに食べられます



〈調理例〉

訪問介護員（ホームヘルパー）

募集のお知らせ

募集人員 若干名
内 容 生活援助（洗濯、買物等）
身体介護（入浴介助、外出介護等）
高齢者や障がい者の方を対象にしています。

応募資格

六十歳位までの健康な方で、ヘルパー1・2級、あるいは介護福祉士をお持ちの方

勤務時間 午前8時～午後6時位まで
土・日・祝日も営業しています。

※ 活動希望時間等ありましたら、ご相談に応じます。

賃 金

生活援助 時給1,080円
身体介護 時給1,300円
◎土・日・祝日等各種手当有
◎交通費・記録の為の事務費支給

お問い合わせ・申し込み

社会福祉協議会 担当 山本
電話 (〇五八七) 九四一〇〇六〇





ポンプコーン機、わたがし機等の貸出しについて

七月二日（月）より、
九月までの予約受付を開始します！

社会福祉協議会では、地域活動支援の一環として、左記備品を貸し出しております。これらの備品は、大口町内地区等の団体行事においての利用に限らせていただいております。

備品種類

1. わたがし機
2. ポップコーン機
3. かき氷機

※備品の利用料はかかりませんが、材料費等につきましては、借受側のご負担となります。

※かき氷機は、借受者の制約がございますので利用希望の際には、お問い合わせ下さい。

夏祭りの時期には、備品の需要が大変多くなりますので、ご予約はお早め！！

社会福祉協議会 今年度新規事業

人生のページを、ご家族、お友達と一緒に残してみませんか。

肖像写真撮影

自宅等に伺い、撮影をし、ご本人（集合写真）の肖像写真（四つ切版）を額に入れてお渡しいたします。

対象者：町内在住八十五歳以上の方。

※ 定員になり次第終了させていただきます。

写真お渡し時期：敬老の日前後

費用：無料です

申込み受付：七月二日（月）

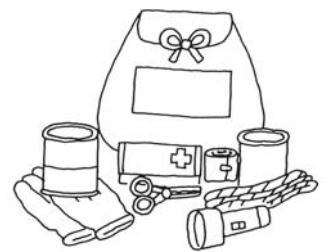
事務所来所、あるいは電話等にて、受付いたします。

※この事業は、各種ボランティアさんの協力を得て実施いたします。



夏休み親子福祉教室

参加者募集



今年の夏休みは、親子で災害を
実体験し、防災についての知識・
技能を身につけてみませんか！

日時：七月二十八日（土）

場所：愛知県消防学校

スカイワードあさひ

参加費：大人 一、〇〇〇円

子供 八〇〇円

※今回の教室は、小学校四年生以上を対象とさせていただきます。

申込み：七月二日（月）より、

事務所来所、あるいは電話等にてお申込みください。

※昼食後天気が良ければ、

太陽観望会に参加できます。

夏休み母子父子家庭 日帰り旅行

参加者募集！

町内在住の母子・父子家庭の方々を対象に、夏休みの一日を親子で楽しんでいただけるように旅行を計画いたしました。

日時：八月五日（日）

場所：大阪市

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

参加費：大人（中学生以上）

．．．四、〇〇〇円

小人（四歳以上小学生）

．．．二、〇〇〇円

参加費に含まれるもの．．．

往復バス代、UJスタジオパス、

旅行傷害保険

定員：四十七名

申込み：七月二日（月）事務所来所、

あるいは電話等にてお申込みください。

